

令和7年度

2学年 音楽科 年間指導計画・評価計画

担当 [佐藤真由子]

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	個人で考える時間を確保し、音楽を形づけている要素及びそれらに関わる用語や記号について、曲想と音楽の構造と関わらせて理解させ、知識・技能の定着を図る。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	グループワークや ICT 機器を活用した授業を積極的に行っていくことで、生徒が自ら学ぶ内容に対し、主体的・協働的に取り組もうとしている。	スモールステップでの学習を中心とし、基礎的な知識・技能の定着を図る。また、技能試験・定期考査を実施し、振り返りの機会を与える。

◎単元（1～数十時間の学習内容のまとめ）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICTとの関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう ・花	・オーディオ機器の再生	4	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	【思】音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
5月 6月	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう ・ブルタバ	・オーディオ機器の再生	2	【知】曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	【思】音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう ・My Melody	・端末の機能（学習内容の復習や評価・フィードバック）	3	【知】音階の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	【思】リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとめのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	【態】音階の特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

6月 7月	・合唱コンクールに向けて ・課題曲練習	・端末の機能 (学習内容の復習や評価・フィードバック)	4	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	【思】 音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
9月 10月	・合唱コンクールに向けて ・課題曲、自由曲練習	・端末の機能 (学習内容の復習や評価・フィードバック)	7	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	【思】 音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
11月	楽器の音色や響きと奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう ・ギター	・端末の機能 (学習内容の復習や評価・フィードバック)	4	【知】 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	【思】 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	【態】 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
12月	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・能「敦盛」	・オーディオ機器の再生	2	【知】 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 【知】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	【思】 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【思】 音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	【態】 ※我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【態】 ※声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
1月	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・ポピュラー音楽 ・生活や社会の中の音楽	・オーディオ機器の再生	3	【知】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 【知】 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	【思】 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【思】 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	【態】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【態】 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
2月 3月	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ・卒業式合唱曲 ・校歌	・端末の機能 (学習内容の復習や評価・フィードバック)	6	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	【思】 音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
評価材および評価方法				実技試験、定期考査、ワークシートへの取り組み状況	実技試験、定期考査、ワークシートへの取り組み状況	実技試験、定期考査の記述内容、授業及びワークシートへの取り組み状況、